

種の概要

宮城県から九州に分布する。甲幅35mm。砂泥質から砂質の干潟に巣穴を掘る。比較的活発に動くため、滞筋や干潟の水溜りに取り残されるようにして潜んでいることがある。甲は横に長く、雄のハサミは不動指が大きく湾曲する。ヤマトオサガニ(その他無脊椎動物Cランク)やヒメヤマトオサガニ(その他無脊椎動物Bランク)とは生息場所も異なるが、本種の甲はより横長であること、及び甲の側面前方にある2つの切れ込みのうち、前方の切れ込みが著しく深いことで識別できる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

高砂市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。播磨東部から西部、及び淡路島で確認されているが、地点数、個体数ともに少ない。県内においては河口域における良好な砂泥質の干潟が少ないことが原因と思われる。

保護上の留意点

全国的にも個体数の多い種ではなく、見られなくなった場所もあるとされる。県内の生息地でも個体群は脆弱であり、河口域の護岸工事や埋め立てなどの人的攪乱によって県内個体群が消滅する危険性がある。



写真提供：増田修



写真提供：西宮市貝類館

【執筆者】 渡部哲也